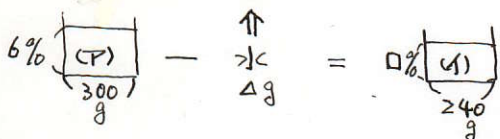


公開模試対策 (入試対策) 解説

[37]

水を蒸発させても 全体の塩の量は変わりません。

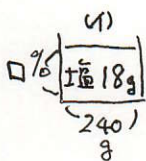
水を蒸発させると重さは減りますが、引き算になります。



(P)の塩 = (1)の塩

(P)の塩の量 $\rightarrow 300 \times 0.06 = 18(g)$

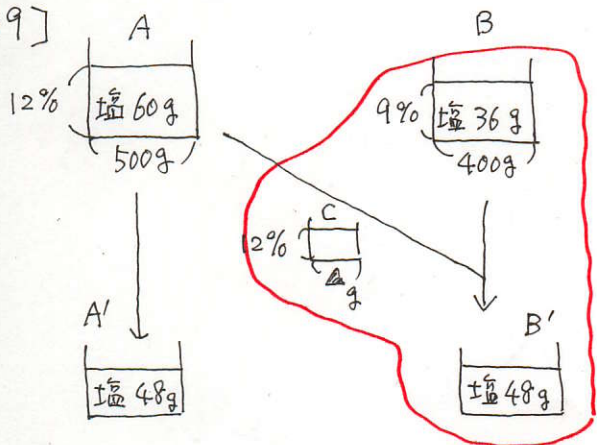
(1)の塩



濃度は $18 \div 240 \times 100 = 18 \times 100 \div 240 = 7.5(\%)$

7.5

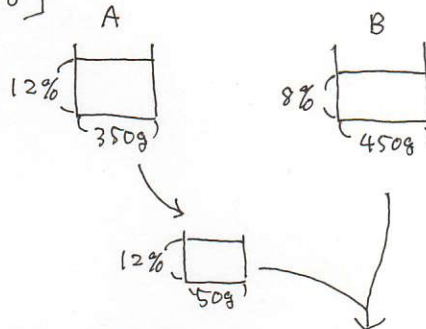
[39]



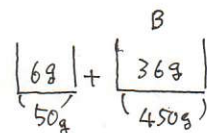
Aの塩の量 $\rightarrow 500 \times 0.12 = 60g$
 Bの塩の量 $\rightarrow 400 \times 0.09 = 36g$
 塩の合計 $\rightarrow 60 + 36 = 96g$

最後にA'とB'の塩の量が同じになった。
 \downarrow
 それぞれ $96 \div 2 = 48(g)$ の塩がある。

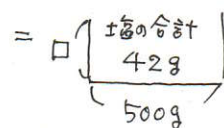
[38]



12%の食塩水 50g
 に入っている塩の量は $50 \times 0.12 = 6(g)$



Bの塩の量は $450 \times 0.08 = 36(g)$



混ぜた全体の重さは $50 + 450 = 500(g)$

塩の合計は $6 + 36 = 42(g)$

濃度は $42 \div 500 \times 100 = 42 \times 100 \div 500 = 8.4(\%)$

8.4%

AからBに移った塩の量は $48 - 36 = 12(g)$

12%のCの重さ(食塩水の量)は $12 \div 0.12 = 100g$ \rightarrow Bに移った食塩水。

B'の食塩水の量(重さの合計)は $100 + 400 = 500(g)$

濃度は $48 \div 500 \times 100 = 48 \times 100 \div 500 = 9.6(\%)$

9.6%